



# Noism2 定期公演 vol.10

新作『BOW!!!』

演出振付：平原慎太郎（OrganWorks）

金森穰振付 Noism レパートリー

演出：山田勇氣（Noism2 リハーサル監督）

出演：Noism2

日程 ■ 2019年3月15日（金）～17日（日）※全5回公演

会場 ■ りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 <スタジオB>

Noism芸術監督：金森穰

## 舞踊に、自分に、全力で向き合い、新しい可能性を見出すこと。 若き舞踊家達の挑戦と成長がここにある。

Noism2 はりゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団である Noism1  
の附属研修生カンパニーとして 2009 年に設立されました。オーディションを経て選ば  
れた若手舞踊家が在籍し、プロの舞踊家を目指して日々鍛錬を積んでいます。

設立以来、毎年開催する定期公演は、Noism2メンバーにとってシーズン中盤の  
山場となる公演であると同時に、さまざまな振付家と出会い、彼らと創作を共にする  
ことで、舞踊家としての豊かな経験を積み重ねる機会でもあります。

10 回目となる今回は、Noism 設立時のメンバーで、現在は自身のカンパニー  
OrganWorks を主宰しながら、振付家・舞踊家として国内外で活躍する平原慎  
太郎をゲストに迎え、新作『BOW!!!』を創作します。2017 年の Noism2 特別公  
演で上演した『よるのち』に続き、2 回目のクリエーションです。忘、暴、某、望・・・、  
様々な意味を含む「BOW（ボウ）」。この作品に身を投じることで、舞踊家たちは  
何を掴むのか。新作と同時に上演するのは、金森穰振付の Noism 作品から  
Noism2 リハーサル監督の山田勇氣が構成・演出する Noism レパートリーです。  
今回は《NHK バレエの饗宴 2012》でも上演した『solo for 2』、『Training Piece』  
から抜粋をお届けします。

若き舞踊家達が、様々な振付家と作品に出会い、全力で向き合いながら、自らの  
新しい可能性を見出すこと。Noism2 の定期公演ならではの挑戦と成長に今年  
もどうぞご注目ください。



『よるのち』（2017年）演出振付：平原慎太郎



金森穰振付 Noism レパートリー（2018年定期公演より）

### 公演に関するお問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 広報担当：堀川  
新潟市中央区一番堀通町 3-2 Tel : 025-224-7000 Mail : info-noism@ryutopia.or.jp

人が人として持つ欲求の全てを BOW という言葉に集約し  
出演者の持てる肉体の全てをぶつける。  
忘れる故に望み暴力的な行動力で果たした忘れる。  
過去と未来と現在を想起させるその言葉。  
そこにアイデンティティも糞もへつたくれもない。  
某人間として傍観するか膨張する自我を防護せずそこに立つか。  
BOW!!!  
そう、全ては闇を切り裂く爆発から始まったのだ

### 初期アイデアノート：「問い」

#### 何が見えたか

ヘルムホルツが提唱した無意識に対する定義を引用し、視覚からの情報を無意識に知覚に変化しそれを把握するものとする。無意識は濾過フィルターのようなもので、当事者の人格形成の上で形状が決められて、ある分野では目が濃く、ある分野では目が粗くなり、情報を各々の価値観で把握していく。その人格形成とはすなわち、どの年齢時にどの地域でどのように過ごしたか、そうした環境下において教育やモラルという一定の「常識」＝「社会的通念」というフィルターが幼少期から長期間に渡り形成される。さらに成長期における環境、社会的事件などから得る倫理感などは前述したフィルターをより緻密に形成し、さらには個人的な経験、実体験が更なるフィルターを作り出す。しかし幼少期から積み上げられた問題は時に社会の問題と個人の問題の線引きは曖昧模糊にされる。そこで問いたいのは個人のフィルターと公のフィルターの境界線、問いかけが作品の一つのテーマとなる。「何が見えた」のかという問いの中には「あなたの取りこぼしてしまった情報は何か」というものと、「届いたものは何か」という二つの意味があることを告げる。

#### 暴力という進行形の表現

ピンカーの著書で扱われている「暴力」という言葉に対して、国家間のものから個人的なものまで様々な規模のものが当該するが、有史以来現在に至るまでどの規模での暴力というものは減少していると考え。しかし、その暴力性を抑制する働きは非暴力なのだろうか。暴力という言葉を抑えるなら現在まに行われている抑止できない過剰な圧力（物理的であるにしろないにしろ）を示すと考える。つまりはどの運動も現在行われる時点である程度の暴力性を帯びると考えるとすると、例えばある一定の権利を獲得するために扱う道徳を基にした過剰な人道主義は暴力に該当するの否か。そこに暴力性の再考査を促すに至ると考える。メディアなどのある一定の情報が暴力的（過剰）に流れ、社会基準を満たしたとされる画一化されたフィルターでそれをすくい取るとき、その暴力にどれほど反応することができるのか。私はある種の暴力性を持ってそれを提示したい。

#### 忘れるから望む

「忘れる」＝「過去」を持たない人間が何を基準に生きるのか。脳が求める快楽的思考が人間の行動理念に基づくものであるなら、忘れることはアクティブな生活を促す事になるのか。ではそのアクティブな生活は何に基づきなされるのか、過去の体験なきアクティブがもたらすものは豊かな生活を永続的に与えるのか。



Photo : Eiji Takahashi

### 平原 慎太郎 Shintaro HIRAHARA

ダンスカンパニーOrganWorks 主宰。ダンサー、振付、演劇のステージングなどを中心とし、大植真太郎、Carmen Werner、森山未来、コンドルズ、小林賢太郎、白井晃などの作品に携わる。2011 年韓国国際モダンダンスコンペティション最優秀振付家賞。2015 年小樽市文化奨励賞、2016 年トヨタコログラフィアワードにて次代を担う振付家賞、オーディエンス賞を W 受賞。2016 年ダンスフォーラム賞受賞。国内外問わず、スペイン、中国、スコットランドに住むアーティストとの親交も深い。

# Noism



Photo : Noriki Matsuzaki

Noism2 リハーサル監督／金森穰振付 Noism レパートリー 演出

## 山田 勇気 Yuki YAMADA

舞踊家、振付家。Noism2 リハーサル監督。北海道生まれ。北海道教育大学函館校にて清水フミトに出会いダンスをはじめ。2005年 Noism に入団。退団後、武道家日野晃に学ぶ。13年より Noism2 リハーサル監督に就任。プロを目指す若手舞踊家を率い、新作を発表している。近年は新潟市内の小中学生や舞踊未経験者に向けたワークショップ等のアウトリーチ活動も積極的に行っている。

# Noism<sup>2</sup>

Noism2 (ノイズム ツー)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術監督は金森穰。プロフェッショナルカンパニーNoism1 (ノイズムワン) と研修生カンパニーNoism2 (ノイズムツー) の2つの集団があり、04年の設立以来、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動している。Noism2 は、プロをめざす若手舞踊家が所属し、りゅーとぴあでの定期公演の他、新潟市内で開催される屋外イベント等、劇場外でのパフォーマンスも積極的に行い、地域に根差した活動を続けている。Noism の由来は、「No-ism = 無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆる ism を再検証することで、今この時代に有用な新しい形に置き換え、現代人としての身体表現を後世に伝えていこうとしている。

Photo : Noriki Matsuzaki



門山楓

岩城美桜

森加奈

森川真央

鈴木夢生

池田穂乃香

カール・ミラン・ハジメ

杉野可林

長澤マリーヤ

橋本礼美



Photo : Kishin Shinoyama

Noism 芸術監督

## 金森 穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。NDT2 在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家・演出振付家として活躍後帰国。04年4月、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。14年より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回毎日芸術賞ほか受賞歴多数。www.jokanamori.com

## 公演概要

### Noism2 定期公演 vol.10

#### 新作『BOW!!!』

演出振付：平原慎太郎 (OrganWorks)

音楽：東海林靖志 (OrganWorks)、景井雅之 (OrganWorks)

#### 金森穰振付 Noism レパトリー

演出：山田勇氣 (Noism2 リハーサル監督)

出演：Noism2

門山楓、岩城美桜、森加奈、鈴木夢生、池田穂乃香、カナル・ミラン・ハジメ、杉野可林、長澤マリーヤ、橋本礼美

Noism 芸術監督：金森穰

日時：2019年3月15日(金) 19:00

16日(土) 14:30/18:00

17日(日) 13:30/17:00 ※全5回

\* 終演後に芸術監督と演出振付家によるアフタートークを行います。(16日14:30、17日13:30回除く)

会場：りゅーとぴあ 新潟市民文化会館<スタジオB>

入場料：2,000円(税込・入場整理番号付き自由席)

チケット発売日：N-PAC mate (りゅーとぴあ友の会) / 一般 共に：1月12日(土)

#### 【お問合せ・チケット取扱い】

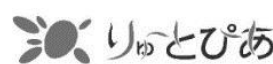
- りゅーとぴあ (窓口・チケット・オンライン)  
チケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11-19時/休館日除く)  
オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
- イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB 共通)

#### 【諸注意事項】

- \* 未就学児の入場はご遠慮いただいております。
- \* 開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。

主催：公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団 製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



## 札幌公演

日時：2019年4月19日(金) 19:00、20日(土) 15:00

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru<クリエイティブスタジオ>

入場料：前売 一般 2,500円 / U25 1,500円 取扱：札幌市民交流プラザ、ローソンチケット、チケットぴあ 他

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団) 後援：札幌市、札幌市教育委員会

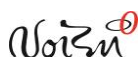
## お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 広報担当：堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00~18:00/休館日除く) Fax: 025-224-5626 Mail: [info-noism@ryutopia.or.jp](mailto:info-noism@ryutopia.or.jp)

Noism オフィシャルウェブサイト [www.noism.jp](http://www.noism.jp) Noism @NoismPR noism\_official



Noism - Niigata City Performing Arts Center RYUTOPIA Residential Dance Company

